



富山いきいき LC チャーターナイト 3 周年 寄稿

元ガイディングライオンとして

富山雷鳥ライオンズクラブ L. 森 弘



認証状伝達 3 周年おめでとうございます。

貴クラブのガイディングライオンとして 2004 年 7 月 31 日のクラブ創立（結成）以来、皆様とのお付き合いをいただき心よりお礼申し上げます。

振り返れば私は同年度、ライオンズクラブ国際協会 334 - D 地区の会員・エクステンション・改革委員に指名されると共に、我がクラブと富山いきいきライオンズクラブの例会を皆出席し、改めて

ライオニズムの高揚の場を与えて頂いた 1 年間でした。

さて、皆様にとってライオンズクラブに入って良かったと思われる事は何でしょうか？ 多分、一番は奉仕を通しての「人との出会いふれあい」だと思います。

私がライオンズクラブに入った時に教えられた事は、ライオンズクラブには卒業が無いのだから、先輩・後輩の決まりは無い（それは勿論互いの人格を尊重するという条件がある）ということでした。これからも、「和の絆」のもと「楽しく奉仕」を目指される事を祈念いたします。

大任を命ぜられて . . .

富山昭和ライオンズクラブ L. 長江正憲

「富山いきいき LC」の皆様、チャーターナイト 3 周年を迎えられ誠にありがとうございます。白紙状態のクラブ結成から、31 名の皆様での認証伝達式に至るまでの半年余りのお付き合いが、非常に懐かしくも嬉しくも感じられます。



皆様方のクラブには結成当初から、他クラブに無い素晴らしい特徴があります。既成クラブから見れば「金の無い（会費が安い）クラブに何ができるのか」ですが、全く気にする必要がありません。ライオンズの究極は、地域のニーズにフィットした奉仕事業を如何に展開するかです。しかも、低コストで高効果を考える必要があります。決して、金満的な事業や贅沢なクラブ運営がライオンズ精神にあるとは思えません。

既成のクラブにも勿論、改革意識はありますが、前年度踏襲と前例主義が幅を利かせ、遅々として改革が進まないのが現状です。

クラブ運営は淡々と簡素で効率的に、事業は熱い思いを抱きクラブの外へ出て奉仕活動で地域に貢献。私はこんなクラブが理想と思います。

「富山いきいき LC」には周辺クラブの手本となり又、改革意識のあるクラブに踏み出す勇気を与えてやって下さい。いや、是非その使命を果たして戴きたいと思うばかりです。